

(専門試験 薬剤師 No. 1)

インフルエンザとその治療に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. これまでの世界的規模での大流行（パンデミック）の原因は、C型インフルエンザウイルスの変異株である。
2. ファビピラビルは、新型又は再興型インフルエンザウイルス感染症の治療に用いられる。
3. アセトアミノフェンを小児のインフルエンザ患者に使用すると、インフルエンザ脳症を悪化させるおそれがある。
4. ザナミビル水和物は、B型及びC型インフルエンザウイルスには無効である。
5. ラニナミビルオクタン酸エステル水和物は、1日2回、5日間吸入投与される。

正答番号 2

(専門試験 薬剤師 No. 2)

片頭痛とその治療に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 片頭痛の患者は、女性よりも男性の方が多い。
2. 遺伝的要因は、片頭痛の発症に無関係である。
3. 片頭痛発作の主な誘因は、ヒスタミンである。
4. 非ステロイド性抗炎症薬は、片頭痛の治療に用いられない。
5. 片頭痛発作の急性期の治療には、トリプタン製剤が有効である。

正答番号 5